

## 月次祭教祖誕生祭

これの神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教△  
△分教会長 慎んで申し上げます

旬刻限の到来と共に人間宿し込みの元なるぢばに於て母親の魂の  
いんねんある教祖を通じおつけ下さいました真実の道に 早くか  
らお引寄せ頂き日々明るく世界のふしんにつとめさせて頂ける私  
達の幸せ 洵に御礼の申しようもございません

わけでも今月十八日は教祖の御誕生日であり御本部では賑やかに  
本勤が執り行われ 併せて祭典終了直後より中庭に於いて喜びの  
合唱が繰り広げられますが これの教会に於いても この理を受  
けて只今より月次祭と共に教祖御誕生祭をつとめ 九十年に及ぶ  
尊い道すがらを心新たに より深く味わせて頂きたいと存じます  
殊に天保九年〃月日のやしろ〃とおなり下されてよりは 同時に  
〃ひながたの親〃ともなつてあらゆる逆境の中も堂々と神一条を  
貫いてお通り下さいましたが 現身をかくされてより今日に至る  
まで 尚〃御存命の理〃を以てお働き下さいます温かい親心の程  
洵に勿体ない限りでございます

お陰で多くの道の子供達が今日の一日を楽しみに寄り集い 心を  
籠めて感謝申し上げておりますが 殊に昨年十月二十五日には真  
柱継承奉告祭が執り行われ 諭達第一号を通して「逡巡を去り胸  
を張つて親の声を伝え 自らも勇み 世界を勇ませて神人和楽の  
陽気世界の建設に力を尽くそう」と力強く仰せ下さいました 尚  
今年の上級創立百周年を記念し教職舎修練場のふしんが愈々起工  
されますが〃この形のふしんに先行する心のふしん〃を目指し  
一手一つに進ませて頂きたいと念願致します

何卒親神様には私達一同 この思召を素直に受けて 先づは地域  
社会に於ける陽気ぐらしのひながた家庭になるよう努力して参り  
ますが どうか私達の馳せ巡るにいがけおたすけの先々に不思議  
議不思議な理の動きが現れ 一段と広く大きく神名が流れて参り  
ますようお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます